



議会だより



将来への提言

初の中学生議会

おもな内容

政策提案を決議……………	2
町政のここが聞きたい(1人が登壇)…	4
初の中学生議会開催……………	8
どっこい、この町に生きる……………	16

介護保険事業に係る 政策提案を決議

介護サービス提供事業者 と利用者への支援を

議決したおもなもの

日南町過疎地域自立促進計画の一部変更

過疎債の財政支援を受けて実施する事業名と事業内容の一部変更。

■日野川の森木材団地整備事業

■県営窓山林道整備事業

■林道船通山線法面修繕事業
■高等学校等通学費助成事業

日南町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告による、国家公務員の給与改定に準じて改正するもの。

■給料表について、平均給与が0.2%引き上げ
■勤勉手当の年間支給月数が0.05月分引き上げ

日南町印鑑条例の一部改正

印鑑登録証明書から性別の標記を廃止。

面積が広い日南町では、介護サービス提供事業者にとって、移動コストが重い負担になっており、採算性が悪く事業の継続が厳しい状況にあります。

このため議会では、介護サービス提供事業者と介護サービス利用者への支援策を提案しました。

片道20分以上を要する訪問・通所系のサービス提供に対して補助するという内容です。新年度予算で取り組んでもらうよう決議し、12月25日、中村町長へ政策提案し、対応を求めました。

※町長へ提案した内容は、6ページをご覧ください。

あけましておめでとございます。
昨年最後の12月定例会は、12月5日から10日までの6日間を会期として開かれました。
初日の冒頭に故増原町長に黙とうを捧げ、ご冥福を祈りました。
一般質問には1名の議員が登壇し、町長職務代理者木下総務課長はじめ執行部の所信を問いました。執行部から提案された条例の一部改正、補正予算など全議案を原案通り可決しました。また、介護保険事業に係る政策提案を決議し、閉会しました。

町長の職務代理とは
町長に事故あるとき又は欠けたときは、副町長が職務を代理する。この度の12月定例会では、町長が逝去され、副町長が退職されたため、長が不在となり、町長の職務を代理する職員は総務課長となりました。



おもな補正予算

日南町林業成長産業化モデル事業
企業進出に伴う木材団地敷地拡幅
測量設計及び用地買収

3,293万5千円

道路維持管理事業
除雪車整備及び
災害復旧工事請負ほか

2,263万9千円

国土調査事業(地籍調査事業)
補助金の減による事業地区見直し

減額7,875万円

介護サービス事業
あかねの郷デイサービス改修工事

2,500万円

社会体育施設管理運営事務
日南町テニスコート復旧工事

160万円

財政管理事務
平成29年度ふるさと納税の基金積立

国際交流基金へ 213万5千円
こどもゆめ基金へ 274万3千円

12月定例会審議結果

○可決・採択した議案

平成30年度補正予算	その他
一般会計補正予算(第9号)	工事請負契約の変更について (福栄地域振興センター新築工事)
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	鳥取県町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合同規約変更の協議について
簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	日南町過疎地域自立促進計画の一部変更について
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	陳情
介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について
病院事業会計補正予算(第2号)	発議
条例の一部改正	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出について
日南町職員の給与に関する条例	介護保険事業に係る政策提案の決議
日南町印鑑条例	

一般質問と答

町政のここが聞きたい

問 教育環境の整備は

答 改善を計画する



久代安敏議員

問 中学生の提案や要望への対応は

去る11月14日に日南中学校の生徒による議会が開かれ、町執行部に對してさまざまな提案や要望があった。とりわけ施設整備については、トイレ改修、ランチルームの照明と冷暖房、小中学校が使用する第一体育館の熱中症対策など喫緊の課題であると感じたが、教育委員会として教育環境の整備を具体的にどのようにすすめるのか。

答 丸山教育長

中学生議会後に中学校と協議をしておき、対応を検討し、改善を計画する。



中学校ランチルーム

問 シアトル研修を修学旅行に

小中学生10人を限定した国際交流事業(シアトル研修)は一定の評価もあるが、義務教育課程での機会均等の原則に立ち、小学6年生と中学3年生がどの子も参加できる修学旅行として充実する方向にすることを求めるが。

答 教育長

現行の海外派遣事業が最も効果的な制度であると考えている。

問 外国人技能実習生の取り組み状況は

今年の当初予算では、鳥取県と連携してモンゴルの日本語学級の卒業生を日南町で技能実習生として受け入れるための事業が執行された。その後の取り組みの状況を明らかに。

答 町長職務代理者 木下総務課長

日本語学級卒業生の殆どは進学を希望、就職は現実的ではないことが判明した。現在、来年度に向けて外国人受入

問 町内での技能実習生の実態はどうか

の体制づくりをすすめている。また、モンゴルゾーンモド町の交流をはじめ人材を受け入れやすい体制づくりを検討している。

国会では新たな在留資格をつくる出入国管理法改定案が審議されているが、現在日南町で技能実習生として働いている労働者の実態を調査しているか。

答 町長職務代理者

10月末現在、町内2事業所で16名の技能実習生を受け入れておられ、実習内容は様々。実習年数は1年もしくは3年と聞いている。

問 日南町で実習生の失踪はあったのか

全国的に外国人技能実習生の失踪が問題になっているが、日南町で該当する人があったのか。

答 町長職務代理者

各事業所へ確認したところ、公表は差し控えたいとの申し出があった。

もつとくわしく 質疑応答

日南町林業成長産業化モデル事業
林業アカデミー開校
入学見込み数は

問 来年4月開校に向けて、現時点の入学見込み者数は

答 推薦入試4名、一般入試0名、紹介2名の合計6名であるが、今後も残り4名を確保し10名を目指す。

木材団地では過去2度火災が発生している。水道の水源確保についてどのように考えているのか

答 ボーリングをした所の水量で足りると聞いている。

問 木材団地では過去2度火災が発生している。水道の水源確保についてどのように考えているのか

答 ボーリングをした所の水量で足りると聞いている。

木材団地土地造成 進出企業へ借地にするのか

問 約2haを造成されるが、主体となる大建工業が新たな会社を作られるのか

答 大建工業が中心となられる。関連企業がどれだけ参入されるかの最後のつめに入っている状況である。

問 造成された用地は、町有地として借地にするのか

答 借地にするのか、ご購入頂くのか、新しい会社が出来た時につめる。



造成予定の山林

国土調査事業
事業費減による町内事業者の影響は

問 一億円近い事業費の減額についての説明を

答 地籍調査の認証遅延が主因で起こっている。事業費減については、地籍調査推進協議会において、要望した予算が付かなかつた事を説明し、事業地区を見直した。

問 業務委託費減額で町内事業者への影響は、どの程度あるのか

答 昨年度から2年間認証遅延を解消するために、工程監理等を町内事業者別に別途委託し業務確保をしている。

居宅介護事業
デイサービスを

問 あかねの郷に集約

答 あかねの郷改修工事費(静養室、脱衣室、駐車場など)について、日南福祉会への負担を求めるのか

答 今後協議をするが、近年は負担を求めている。

各委員会活動報告

総務教育常任委員会

11月13日

日南小中学校 学校訪問 (現地調査)

小中学校の授業参観をし、教職員管理職及び教育委員との意見交換を行った。
遊び場づくりや北の原橋の安全性について意見があり、今後本委員会で検討する事とした。

12月6日

新石見小水力発電所復旧工事の進捗について (住民課)

12月26日には工事が完了しフル稼働する。

経済福祉常任委員会

10月26日

日南町意欲ある農業者支援助成条例の 一部改正について

改正に向けて具体的な検討を行った。

12月7日

日南町畜産センター状況について (農林課)

新規参入後の状況について説明を受けた。現地調査を行う。

11月29日

日南町意欲ある農業者支援助成条例の 一部改正について (農林課)

改正条文の整理を行った。

山林の寄附採納について (農林課)

山林寄附採納の申し込み状況、その後の手続き状況について説明を受けた。

木材団地造成事業について (農林課)

新規企業進出のための木材団地拡張事業について説明を受けた。

日野上・生山地区統合簡易水道事業 配水池の現地調査 (建設課)



あかねの郷改修について (福祉保健課)

かすみ荘の機能移転のための施設改修について説明を受けた。現地調査を行う。

中心地域整備に関する調査特別委員会

12月20日

中心地域の貸付地について

現況について説明を受け調査を行い、委員会として意見を述べた。
・町はプレカット事業協同組合に対し、賃貸している町有地を自動継続としない旨伝えること。
・具体的な事(即刻返還または数年後に返還等)については、今後の委員会において議論すること。

介護保険事業に係る政策提案 (概要は2ページ)

社会福祉法人日南福祉会は、平成17年4月より事業運営を開始し順調にサービスを提供してきたが近年は赤字の決算が続いている。その原因として人口減少や職員不足、平成27年度から始まった総合事業等様々な要因があるが、担当課や福社会理事長からの聞き取りにおいて特別養護老人ホーム事業では黒字が見込めるものの、訪問・通所系の事業においては採算性が非常に厳しいことが判明した。

移動コストの負担が大きいため採算性が悪く、事業継続が厳しい状況である。この解決策として下記の事項を日南町長へ提案し対応を求める。

記

1. 訪問・通所系の介護サービス提供事業者への支援策
通常経路で片道20分以上を要する訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問型サービスA、通所介護、通所リハビリテーション、通所型サービスAのサービスを提供した場合、介護報酬基本単位の20パーセントを補助すること。
2. 介護サービス利用者への支援策
特別地域加算を算定している訪問系介護サービスにおいて、加算部分の被保険者の利用料を補助の対象とすること。

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、12月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見	本会議
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 西田 周郎 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 藤波 敦夫	教育の機会均等と水準の維持向上のためには、国による財源保障の充実が必要である。	採択

12月定例会で下記の意見書を採択し、衆参両院議長及び内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高める教育環境を実現するためには、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必要である。

また、自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国の施策として定数改善にむけた財源保障をすべきである。

子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、2019年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう求める。

記

1. 少人数学級の推進のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1にすること。

問 中学校の設備改修を

問 中学校の施設改修を
トイレの和式が多く、排水が悪く臭いがきついでトイレ改修をしてほしい。また、教室のドアや窓が開きにくかったり、床がめくれたりしているので、使いにくい。

答 建設中の日南町体育館は全て洋式トイレにしているが、現在、経費の面から洋式への改修については、庁舎においても全体の40%であり未定となっている。換気や消臭剤の使用等の対策を実施したい。また、修繕箇所は学校から要求を出していただいているが、再度、点検を行い、改善をしていきたい。

要望 生活に不便な2階、3階のトイレと第一体育館のトイレの改修を早くしてほしい。



坂本 敬人議員(3年) 高橋 颯太議員(2年)



改修が望まれる第一体育館のトイレ

問 第一体育館は、夏はサウナのように暑く、熱中症の危険性がある。ランチルームには冷暖房がない。暗くて冷たい感じがして快適に給食を食べることができない。改修するなどの計画はないか。

答 新しい日南町体育館の対策に沿って実施したい。(大型扇風機を使用)

要望 体育館の換気を良くし、ランチルームを明るくしてほしい。

答 ランチルームの現状を把握して暖房については、ストーブを増やす検討。冷房に関しては、使用期間や時間が短いので、学校と協議し、対策を実施したい。



田邊 豊議員(3年) 原 生命議員(2年)



かすみ荘を訪問して合唱披露

問 中学生が日南町に貢献している評価は

答 日南中学校では、「中学生も日南町に貢献しよう」と言う事を目標にして、いろいろな活動をしてきた。そのような活動は、日南町の方々からどのように評価されているか。また、中学生に望まれることがあれば教えてほしい。

答 中学生が高齢者福祉施設や保育園を訪問して合唱等を披露。また、ふるさとまつりの中で文化祭を開催し、演劇や合唱を披露など、学校を出て地域で学習活動をしていることに高く評価している。今後も地域の中で同じように、活動をしていただきたい。また、高校生や社会人になっても日南町で行われる行事に参加していただける町民になってほしい。

問 これからも国際交流や新しい取り組み計画があるか

答 国際的な交流や研修はできる限り継続したい。新しい取り組み取り組みの計画などはあるか。

提案 皆で行ける海外の修学旅行。

提案 あかねの郷やかすみ荘の人達を文化祭に招待したい。

議会に初挑戦 “日南町の問題や将来に中学生が提言”

次世代を担う子どもたちが、日南町をもっと『住みよいまち』にするためには、どのようにすれば良いかを考えるきっかけとして、また、日南町議会をより身近に感じ、議会の役割や行政の仕組みを考える機会として、11月14日(水)議場において、日南中学校の新旧の生徒会執行部(2年、3年)の12名が6グループに分かれ、中学生の視点から日南町の課題を捉え、質問や未来に向けた提言を行いました。副町長・教育長をはじめ各関係課長が答弁者として、町の施策や取り組み、そして、中学校の施設整備など質問に答えました。

中学生の代表質問項目

- ①町づくり・活性化・特産物
- ②中学校の施設・設備の充実
- ③中学生の取り組み・活動評価
- ④災害対策・通学環境の整備
- ⑤町内の産業・仕事・就職
- ⑥町の文化・歴史・自然環境



代表質問と答

問 これからのイベント計画は

答 道の駅などでさまざまなイベントが行われているが、これからのイベントの計画があるか。

答 にちなん食のバザールを計画。また、クリスマス、お正月も楽しんでいただけるイベントを計画。来年は町政60周年でいろいろなイベントを計画している。アイデアがあれば提案してほしい。

問 公園をつくる計画は

答 小さい子どもたちが親子で遊べる公園を作る計画はないか。

答 まちづくりアンケートで、公園など町民が気軽に利用できるスペースを望む声がある。意見があれば聞きたい。

提案 公園内に、アスレチックパークや芝生があると家族で来やすい。



青木 芹那議員(2年) 大柄 美咲議員(3年)

問 PRしている特産物は

答 日南町のお土産などで、特産物をPRできるものがあるか。

答 一昨年オープンした道の駅では、町の特産品である米、トマト、椎茸、りんご、香茸などを使ったパスタ、ジュース、ドレッシング、カレー、ゼリーといった特産品が、お土産品として販売されている。また、これらふるさと納税の返礼品として利用している。

問 スポーツ施設を作る計画は

答 健康増進施設を計画している。

提案 スポーツジムに、ボルダリング施設やスポーツ用具を増やし、利用者の増加を。また、ティックトックを撮影可能なスポットがあれば、町内外から若い人が集まる。

提案 音楽フェスで若者の参加を増やし、町内就職や定住促進を。

問 空き家を利用して憩いの場所づくりを

答 日南町内に現在利用可能な空き家バンク登録物件(修繕が必要)が10戸程度あり、店舗やオフィスとしての利用に加え、宿泊施設等の検討をしている。



出口 弥春議員(3年) 田邊 瑞葵議員(2年)

問 災害時の対策は

今年には全国で台風や雨の災害があり、電気、水道、ガス、道路等に被害があると生活ができない。日南町の防災時の対策は。

答 町では、風雨被害、地震、原子力防災それぞれの災害に対応するために「日南町地域防災計画」を立て、災害の予防、応急対策、復旧・復興の各段階で住民の皆さんの生命や生活を守っていくための対策を定めている。

提案 各家に防災食を置き、交換時に、廃棄しないで食料を必要とする国に送って国際協力をしては。

問 災害時に普段から気を付ける事や意識しておく事は

答 災害時にまず自分の命や家族を守る事を日頃から考え、近所と助け合える人間関係をつくる事。



影井 航世議員(3年) 田中 一騎議員(2年)

問 日南町の魅力PRは

「オオサンショウウオ」や「たたら」など、日南町だけしかない特徴のあるものがたくさんあると思うが、日南町の魅力としてどういうPRをしているか。

答 観光活用と保全を一体的に進めていく「エコツーリズム」の取り組みを進めている。PRは、ポスター掲示等に加え、世界をターゲットとしたSNSの活用、団体客誘致として旅行会社への売込に力をいれている。

提案 日南町の名所を巡るミステリーツアーを企画しPRしては。

問 自然を生かした工夫は

日南町にはたくさん自然がある。そういうものを活かした日南町の良さを広める工夫は、どういうことがされているか。

問 災害復旧を早くする工夫は

今年の台風で壊れた箇所がある。早く直すための工夫や方法は。

答 台風や豪雨、地震などの自然災害により被災した施設を迅速・確実に復旧するために、国の災害復旧事業制度を受け3年以内に復旧。また、「日南町単独災害緊急対策事業」で助成する。

問 通学路やバス停に外灯を

通学路やバス停に外灯がなく、特に冬は暗くて危険という声がありました。外灯の設置はできるか。

答 自治会などでLED防犯灯を設置されるときに設置費用の半分を補助する制度をつくり、夜間の地域の安全や防犯の防止に努めている。夜間に危ないと思う道などがあれば、家族や地域の皆さんと相談して設置の検討を。

提案 地域の特徴を描いたバスにしては。また、生山駅前楽しい絵を描いてPRを。

問 バス時間の変更はないか

夏には部活動をもっとしっかりしたいと思うが、19時バスを出すことはできないか。

答 平成29年度から全路線19時のバス運行を中止した。これは利用率や、バス運行に係る経費などを総合的に判断し決定した。今後の運行も計画はありません。

問 保育園や小学校の時から自然とふれあう機会を設けることで、魅力を理解し発信できる人の育成に取り組んでいる。また、エコツーリズム協議会を立ち上げ、国内外への発信につなげていく予定。

答 保育園や小学校の時から自然とふれあう機会を設けることで、魅力を理解し発信できる人の育成に取り組んでいる。また、エコツーリズム協議会を立ち上げ、国内外への発信につなげていく予定。

問 林業の仕事や魅力は

日南町の林業はどのような仕事をして何を作っているのか。また、大変なところや魅力的なところを教えてください。

答 日南町で一番大きな会社はオロチで70名位働いている。日南町は林業成長産業化モデルに指定され、林業アカデミーで人材育成を行う。また、オロチで作っているLVLを更に加工して不燃化にする会社が立ち上がる予定。



オロチのLVL加工現場



宮本 滯議員(3年) 柳生 共映議員(2年)

問 転入者数と転入理由は

今までに町外や県外・外国から日南町に来られた方は、どれくらいおられるか。また、何を求めてきておられるか。

答 平成27年から29年の3年間の転入者は291人で、内訳として、県内転入者が114人、県外転入者が157人、国外転入者が20人。転入の主な理由は、就職、子育て、田舎暮らしである。

提案 町外から訪れる理由が日南町の価値である。新しい食や産業・商品などに繋がれば。

問 インターネット整備構想は

日南町では、どこでも自由にインターネットに繋がらない。整備構想はどのようになっているか。

答 現在、学校や役場、観光施設や地域の集会所等人が集まる場所



中学生(傍聴人)の感想

生徒会執行部の皆さんは、大人の議員の方に負けず、積極的に質問したりして、議員に成りきってました。議会では、一つ一つの発言が大事で、その発言によって、日南町がより良くなって行くのだと実感しました。

議員・執行部の皆さんが「日南町を良くしたい」という思いが伝わって来ました。これから先、私たちの中で、日南町を離れる人も多々いると思うけれど、これからは日南町に貢献し、老若男女を問わず、住みやすい町にして行きたいです。

にはWiFiが利用できる。今後、携帯電話も含めエリアの拡大について検討している。また、タウンズネットケーブルの光化を予定しており、ネット環境が良くなる。

提案 ネット通販宅配システムで、お年寄りの安否確認と買い物支援。

問 将来必要となる仕事や人材は

日南町で暮らすためには、まず働く場所が必要。将来的に日南町で必要となる仕事や人材と、将来の日南町の構想を教えてください。

答 日南町では毎月林業、介護など30数社の企業が町内で働く人を求めているが、なかなか労働力の確保に繋がっていない状況である。一人でも多くの皆さんが日南町で働くことに魅力を感じてもらえるよう、PRしていく。

提案 自然を活かした産業・環境を都市部にPRし、流通を増やして、町内の仕事を増やしては。

問 日南町に住んで良いことは

日南町に住んだり、仕事をしたりすると何か良い事があるか。

答 日南町にUターンされた方に対し、就職に向けた支援金制度や、一定期間就労された方への奨励金制度がある。住宅も、購入、修繕に際しての補助金がある。

現在の日南町の活動や課題、今後の取り組みなど、町民を思い考えた案は、どれも良かったです。中学生議員もたくさん考えを伝え、日南町のより深い部分に分かり良い経験になりました。

日南町の施設や教育・交通・環境について、中学生が具体例を上げて質問し、それに対し副町長さんや教育長さんが詳しくお話をしていたので、私たち中学生にとって、とても役に立った議会だと思いました。

中学生のみなさんへ

(議員の感想)

皆さんが日常の問題点を捉え、未来を描きながら、しっかりと自分の言葉で、質問や提言ができたことに強い感銘を受けました。日南町の将来を真剣に考え、大切に思っていると感じました。

この経験をきっかけに、暮らしやすい町にするためには、みんなが政治に参加することがとても大切だということに、気付いてほしいです。

そしてできれば、日南町の将来を担う議員に成ってほしいと願っています。

日南町林業の現状と 未来に向かって

(資料1) 鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業 (高性能林業機械等の導入) 一覧表

機 種	22年度	23年度	24年度	26年度	27年度	計
ハーベスタ	0.5m ³			2	1	3
	ロング			1	2	3
バックホー	0.25m ³	4			2	6
	ロング			1		1
ザウルス	0.5m ³			1	1	2
	0.25m ³	5	2		3	12
フォワーダ	積載 4.8t			4		4
	積載 4.0t	3		2		7
貨物車	積載 7t	2				2
台数年度計	14	2	14	9	4	43
総事業費 (単位千円)	135,643	21,262	195,900	153,300	34,300	540,405

※25、28、29年度の導入実績はありません。

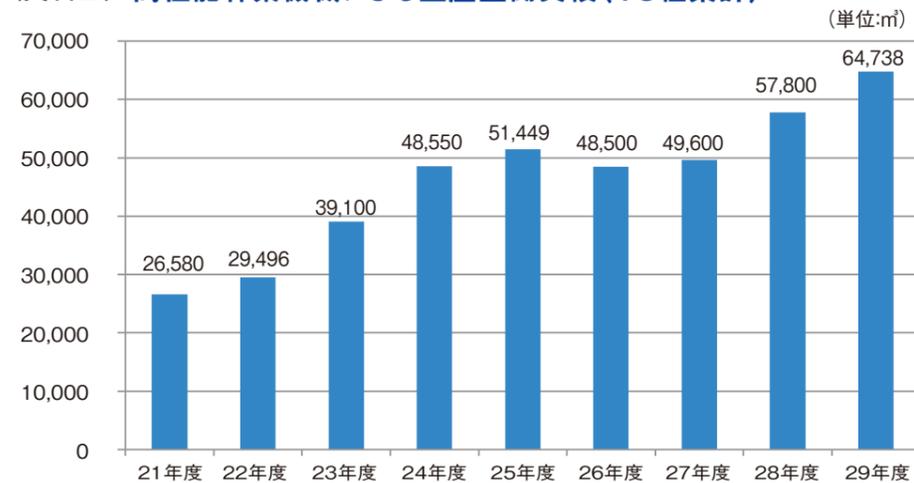


ザウルス



フォワーダ

(資料2) 高性能林業機械による生産量働実績(13社集計)



議会では、住民グループからの申し出があれば、意見交換会を行います。事務局へお申し込み下さい。



意見交換会を終えて
 施策単価を下げるのが難しいという現状を聞いたが、林業成長産業化を、町民が実感できることも重要と考える。
 林業アカデミーが、後継者育成という期待に応えられるよう、体制整備が急がれる。

鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業

議員全員と日南町木材生産事業協同組合12人として、林業についての意見交換会を行いました。

協同組合
 平成22年度から27年度までに、事業費5億4千万円で43台の高性能林業機械を導入した。そのうち22年から26年度事業は町から20%以上乗せ補助金として1億円をいただいた。使用事業体は13社。生産量10万立米のうち70%を組合の高性能機械で搬出している。30年度も8台導入予定。

議員
 これで十分なのか。まだ必要なのか。
協同組合
 当初導入したものは故障も多く修理費がかさむ。また、すべての機械の大型化が必要。生産力を上げるためには機械と人を増やす必要があり、林業アカデミーに期待している。

議員
 30年度の生産量予測は。また、今年度導入する8台でどの程度生産量が増えるのか。
協同組合
 10月末で前年の1.2倍の生産量である。機械は来年度から稼働するが、8台中4台はハーベスタなので、生産性が一人1日あたり4立米が6立米くらいになり、飛躍的にあがる。今後は皆伐が増えるのでハーベスタが必要。
 ※13ページ(資料1、2)を参照

るか。また、作業員は何人くらいか。

協同組合
 13社のうち半分くらいは後継者がいる。林業従事者は120人くらいである。

議員
 30年度の生産量予測は。また、今年度導入する8台でどの程度生産量が増えるのか。

協同組合
 10月末で前年の1.2倍の生産量である。機械は来年度から稼働するが、8台中4台はハーベスタなので、生産性が一人1日あたり4立米が6立米くらいになり、飛躍的にあがる。今後は皆伐が増えるのでハーベスタが必要。
 ※13ページ(資料1、2)を参照

作業道と災害

議員
 作業道による災害が発生している。災害対策はいかに。

協同組合
 施策単価が小さい場合は急傾斜な作業道が必要となり、災害の原因となる。100ヘクタールくらいの団地化なら、平らな道ができるので災害リスクは下がる。

議員
 作業道の付け方の研修は。

協同組合
 鳥取式作業道の資格を取っている。補助事業には必須なので事業体の半分以上は持っている。
 施策が終わった作業道には必ず横断の水切りを作る。業者はしっかり管理している。

団地化の進捗状況

議員
 団地化の進捗は。

協同組合
 2年前に全自治会で説明したが、すべての山林所有者

の理解が得られたのか否かは把握できていない。山林の現状に応じて提案し理解を得ている。

山元へ還元を

議員
 施策してもらって山元にもお金が入ることが大切。施策単価が10年前から下がっておらず、高性能林業機械の導入効果がでない。町の20%上乗せは山元のためなので、経費削減と山元還元の努力を求めます。

協同組合
 努力する。
 機械導入で生産量は上がったが、維持管理費や燃料代、若手育成や従業員の福利厚生も必要。



ハーベスタ

第8回臨時会

平成30年11月22日

議決したおもなもの

一般会計補正予算

- ・町長選挙執行事務 763万6千円
- ・耕地災害復旧事業 1億3300万円
- ・林道災害復旧事業 9832万1千円
- ・公共土木施設災害復旧事業 3億3668万1千円



河川災害復旧工事(新屋土屋川)

副町長の退職の期日に関する同意

副町長 中村英明氏
退職 平成30年11月22日

第1回臨時会

平成31年1月18日

議決したおもなもの

日南町個人情報保護条例の一部改正

- ①個人情報保護の定義の更新(指紋認識データなど身体的特徴をデータ化したものや、運転免許証番号など個人情報の対象として明確化される。)
- ②要配慮個人情報の定義の新設(本人に対する不当な差別や偏見が生じないように「要配慮個人情報」として新たに規定する。)

字の区域の変更

県営土地改良事業阿毘緑地区(第2工区)にかかる換地処分によるもの。

中村町長初の臨時会(本会議)となりました。



議員 発議

今年度末で期限切れとなる二つの条例の内容を充実して、平成34年3月31日まで3年間延長しました。

日南町住宅改修助成条例の一部改正

改正内容

- ・(助成対象工事) 20万円以上の工事
- ・助成対象工事の金額をこれまで30万円以上であったものを、20万円以上からとして少額の工事から利用できるようにした。

(助成金額)

- ・上限40万円
- ・助成金額の上限を30万円から40万円に引き上げた。
- ・これにより、過去において30万円の助成金を受け取った方も、新たな改修を受ければさらに10万円の助成が受けられることとなる。

日南町意欲ある農業者支援助成事業条例の一部改正

改正内容

- ・(助成対象者) 米以外の販売額が年間50万円を超える者
- ・耕作面積が1haを超える営農計画を認定された者の場合は、導入農機具等の耐用年数期間は、耕作面積が1haを下らないこと

(助成対象事業)

- ・直売所へ出荷する場合の10万円を超える事業を対象から外す。
- ・助成対象の営農計画期間終了後にその計画を満たしていれば、新たに3年間の営農計画に即した事業とする。

(助成金額)

- ・上限30万円であったものを50万円とする。

報酬改定について 答申がありました

鳥取県西部地区特別報酬等審議会に対し、議員の報酬改定について諮問していましたが、12月6日付で、「町村議会議員の報酬額は、現状維持とする」という答申がありました。

理由としては、
・西部7町村の議員報酬が全国平均県平均から比較して特に低水準ではない。
・日南町以外の6町村議会における改定の意向が確認できない。
・7町村全体の住民の賛意が得られていない。
・議員のなり手不足に対し報酬以外で深く論議されていない。

・現在国で町村議会や議員報酬のあり方について議論されており、近い時期での変革が予想されるので、それを待つべき。
という内容でした。

日南町議会としては、この答申に対して、具体的な対策を検討します。

平成30年

議会報告会・意見交換会

ご参加いただきありがとうございました

町民の皆さんに信頼される民主的なまちづくりを実現するために、議員が地域に出かけて活動の状況を報告し意見交換を行い町政に反映することを目的に開催しました。
町民のみならず出された質問や意見は、常任委員会や特別委員会などで審議し、その結果をまとめて2月末までに広報します。



大宮地域振興センター



多里桜ヶ瀬会館

開催日	会場	参加人数
10月24日	日南町総合文化センター 多目的ホール(議員全員)	12人
10月25日	山上地域振興センター	8人
	阿毘緑地域振興センター	5人
10月26日	多里桜ヶ瀬会館	7人
	大宮地域振興センター	6人
10月29日	福栄地域振興センター	15人
	石見地域振興センター	8人
	合計	61人

議会 活動 報告

(10月)

- 10日 全員協議会
- 13日 議会広報常任委員会
- 16日 議会上保育園運動会
- 18日 議会広報常任委員会
- 24日 議会報告会・意見交換会
- 25日 議会報告会・意見交換会
- 26日 全員協議会
- 26日 経済福祉常任委員会
- 27日 議会報告会・意見交換会
- 29日 日南中学校文化祭
- 30日 議員行政視察研修(6人/高知県大豊町・仁淀川町)

(11月)

- 2日 名刀展オープニングセレモニー
- 4日 関東町人会
- 7日 全員協議会
- 11日 故増原町長町民葬
- 13日 総務教育常任委員会
- 14日 中学生議会
- 16日 鳥取県町村議会女性議員幹事会
- 22日 日南小学校学習発表会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 臨時議会
- 26日 議会運営委員会
- 28日 日南町木材生産事業協同組合との意見交換会
- 29日 経済福祉常任委員会
- (12月)
- 1日 議員研修(3人/岡山県高梁市)
- 5日 12月定例会本会議(一般質問ほか)
- 6日 全員協議会
- 7日 総務教育常任委員会
- 10日 経済福祉常任委員会
- 20日 12月定例会本会議(中心地域整備に関する調査特別委員会、議会広報常任委員会)

平成30年

行政視察受入状況

(5月29日以降)

- 6月26日 鳥取県琴浦町企画課
タブレット導入について
- 6月27日 高知県黒潮町議会
林業政策について
- 10月23日 兵庫県香美町議会
地域自治組織について、コンパクトヴィレッジ構想の推進の取り組みについて
- 10月25日 千葉県長南町議会
コンパクトヴィレッジ構想の推進の取り組み状況について
- 11月7日 山口県田布施町議会
農林業研修制度について
- 11月27日 鳥取県琴浦町議会
タブレット導入について

道 どりこい、この町に生きる 草

にちなん議会だより

平成31年1月発行 第154号



豊かさを自然とともに、自分達らしく

大森 幸二さん・麻衣さん（菅沢）

瑚麻さん（4才）・弥麻さん（2才）



てやろうと。そして宮崎に移住を

決断、3年して長女を妊娠した時

にもっと何もない自然の中で子供

を育てたいと考え、加計呂麻島に

渡りました。

麻衣さん 宮崎ではお米や野菜は

勿論、塩も自分達で焚いて作り、

どぶろく作ったり、麴を作り味噌

も作っていたんですよ。

幸二さん 手狭に感じてきたけど

借地頼みだから思うようにできな

いし、島外の人には簡単に土地を

売ってくれない。四季を感じられ

る処で暮らしたいとも思い始めた。

麻衣さん やっぱり食べ物を作る

には四季があった方が美味しいし。

を強く持ちました。

幸二さん 多里を中心に探してい

たけどなかなか見つからず、そん

な時空き家バンクでこの家が売り

に出ている、手の届く金額だった

ので思い切って購入。理想的な場

所で求めている物が全部揃ってい

る環境に大満足。何年もかけて綺

麗にしていくのが何より楽しいと

感じているので、こんな広い土地

が有ったら一生やることがある。

麻衣さん 山と農地と、川があつて、

何より安心して飲める水、道路が

ら少し入っているし最高です。

幸二さん 世界共通のWOOF(ウー

フ)という制度を使って食事と宿泊

を提供したい、いろんな人に来て貰

えることで子供にもいい影響がある

はず。何もなければ居心地がいい空

間で。

麻衣さん 目指しているのは時間

とお金に縛られない、自然に抱か

れた暮らしで、豊かさをお金だけ

で測らない暮らし。おばあちゃん

の知恵を教えてもらいたいなあ。

編集後記

あけましておめでとうござい
ます。

今年も亥年。草木の生命力が

種の中で閉じこめられた状態を

表しているとか。また、猪の

肉は万病を予防するといわれ、

「無病息災」の病気になるにく

い年ともいわれている。

種を蒔いて、芽が出て、健や

かに成長し、りっぱな花や実を

つけるよう、環境を整えること

が、次の世代につながる。

そのために、しっかりと力を

蓄える年にしたい。

町民の皆様のご健康とご多幸

をお祈りします。

恵比奈 記

議会広報常任委員会

委員長 恵比奈礼子

副委員長 足羽 覚

委員 近藤 仁志

委員 大西 保

委員 古都 勝人

委員 福田 稔